

“おおだ”を拠点に世界へ

(株)フィールテクノロジー

“おおだ”への熱い思い



左から 佐々木さん、塩浦さん、元井さん

(株)フィールテクノロジー(三谷明彦代表取締役・従業員11名)は平成14年2月に設立されて以来、氷感技術の研究と開発を進めました。現在では氷感技術は多くのマスコミに取り上げられ、経済産業省が実施・主催する

2009年元気なモノ作り中小企業300社「日本のイノベーションを支えるモノ作り中小企業」部門に選定されました。その技術を支え、世界へ送り出しているのが三谷社長の下に集まった従業員の皆さんです。

引き寄せられた3人

「島根に来たこともなかったけど、三谷社長の人柄に引き込まれた」そう語るのは入社して一年半の塩浦龍さん(29歳)。もともと塩浦さんは鹿児島市内で働いていました。しかし、三谷社長と塩浦さんのお父さんが知り合いだったことが縁で、(株)フィールテクノロジーのホームページを見たり話を聞くうちに、魅力を感じ大田へイターン。「大田へ来たおかげで世界へ向けた仕事、一つしかない仕事ができる」と語る塩浦さん。その目は燃えています。

鳥取市から大田市へイターンされた元井大輔さん(28歳)に入社したきっかけを尋ねると「大学院で農業の研究をしていて、農業に役立つ仕事を探していたらホームページで見つけま

した。面白そうなので会社へ押しかけてぜひこの仕事をやらせてください、と社長へ直談判した」とのこと。大田での生活は、施設についてはちよつと不便だけれど、近所の方は優しく、子どもを育てるにはいい環境だそうです。「島根でこんなすごいことをやってるんだと言われると嬉しい」と笑顔で語ってくれました。

社長と20数年来の友人だという江津市在住の佐々木正通さん(52歳)はちょうど取材の日が入社初日。それまである企業に勤めていましたが、社長の人間性に惹かれ、この会社で働くことを決意されたそうです。「働ける限り働いて恩返しをしたい」と決意を新たに語ってくれました。

Uターンを希望されている方へ

塩浦さんは「夢があれば場所はどこでもいい。自分で自分を变えてやるという気持ちが大切」。「何もないからやるのがたらくさんある。メカニズムが分からないところに夢を感じる。未完成のものを扱う面白さがある」

と元井さん。
佐々木さんは「地方にいることによる弊害は感じない」とアドバイスをくれました。

社長をはじめとして、“おおだ”への熱い思いを持つ従業員皆さんのこれまで以上の活躍が期待されます。



冷蔵機器のベンチャー企業。食材を凍らさずに長期保存ができる画期的な保存装置「氷感庫」を開発、販売。氷感技術は食品関係だけでなく、医療分野でも期待されている。世界へ羽ばたくオンリーワン企業。

(株)フィールテクノロジー Feel Technology Co.,Ltd.

大田市久手町波根西750-7 / ☎0854-84-0315
ホームページ <http://www.feel-tech.jp/>